



祝150周年

やさしさと 思いやりで

# 笑顔がいっぱい！



つながれ かがやけ 山里小

## 8月9日 平和祈念集会

79年前の8月9日11時2分、ここ浦上の地に原子爆弾が投下され、一瞬にして多くの人の命が奪われました。本校でも、1300人以上の児童や教職員が亡くなったと記録されています。今日、8月9日は、長崎にとって、そして山里小学校にとって、本当に特別な日なのです。



登校してきた2、4、6年の子どもたちが、それぞれ「あの子らの碑」に献花をしました。



各学級で平和学習を行いました。6年生の教室では、竹田市から3名の児童が参加し、ともに平和を学びました。



「あの子らの碑」や「防空壕跡」で、学年に分かれて黙祷を捧げました。

## 平和の集い1 オンライン 校長の話

オリンピックで、競技者たちが、他国の選手とも称え合う姿を紹介しつつ、次のようなことを子どもたちに伝えました。

山里小の学校目標は「やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい」です。立場が違って、考えが違って、「やさしさ」や「思いやり」で相手に接すること、これこそが平和の原点だと思います。例えば、気持ちのいいあいさつをする。友達の話をしっかり聞いてあげる。「ありがとう」や「ごめんなさい」の気持ちを言葉にして伝える。落ち込んでいる友達に励ましの言葉をかける。このように、「やさしさ」や「思いやり」を態度で示すことを続けるのが大事です。その輪が広がっていく先に、本物の平和があると思います。まずは、みんなの力で、「やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい」の学校をつくっていきましょう！

## 平和の集い2



「献花」



「献鶴」



「あの子」の歌声は、いつもながら心を揺さぶられるものでした。

暑い中でしたが平和委員会の進行で、みんなで平和を誓い、平和を願う会ができました。特に「あ

この日は平和公園で行われた「平和祈念式典」に6年生48名が参列し、児童合唱「あの子」を披露しました。ご承知のとおり、永井隆博士が作詞し、長年、本校で歌い継がれてきた名曲です。暑い夏休みも毎日のように練習に励み、この日を迎えました。岸田首相や各国の要人も見守る中、心を込めた歌声を全世界に発信できました。

7月20日、原爆資料館ホールで、6年生3名が、「原子雲の下に生きて」の朗読と「あの子」の歌を披露し、観衆に大きな感動を与えました。自分から進んでこのような場に参加する姿勢が本当に素晴らしかったです。

8月2日、平和会館での「原爆殉難教え子と教師の慰霊式」に、平和委員会の6年生8名が参列しました。原爆の犠牲となった子どもたちや先生たちを慰霊し、平和への願いを込めて、献花をしました。

このように、8月9日の意味を理解し、山里の子どもたちは進んで活動を行っています。平和を学ぶ学校の一員として、平和な未来をつくる一員として、頼もしい限りです。